

科目名 (科目番号)		成人看護学 援助論Ⅱ (急性期) (時間割参照)	教員名	岡嶋妙子 小川愛里 中島美香 吉田和美 その他	学科等	看護	必修	履修年次	3
					曜日・時限等	時間割表参照		単位数	2
					授業形態	演習	オフィスアワー	別紙参照	
授業概要		急激な健康破綻をきたした成人期にある人の特徴、生命危機状態にある急性期の代表的な機能障害のある患者の看護、および手術療法に伴う身体侵襲と周術期の基本的な看護について学び考える。急性期・周術期に行われる看護技術、急性期の患者の看護過程、術後の生活の再調整・再構築のための指導の基礎を演習により習得する事を目的とする。							
目的・目標		目的:急激な健康破綻をきたした成人期にある人の特徴、生命危機状態にある急性期の代表的な機能障害のある患者の看護、および手術療法に伴う身体侵襲と周術期の基本的な看護について理解する。 目標: ①急性期にある患者と家族の特徴を理解できる。 ②周術期にある患者と家族への看護が理解できる。 ③各機能障害にある患者の看護を理解し、急性期にある患者の看護実践を習得できる。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目			到達目標・学習内容				
	1	急性期にある患者と家族の特徴と看護			到達目標:①急性期の状態にある患者の身体的・精神的反応を理解する。 ②急性期の状態にある成人期の患者と家族の特徴、危機的状況での患者の状態を全人的に理解し患者と家族について理解する。 学習内容:①急性期の状態を生じる原因、生体侵襲について学習する。 ②急性期にある患者のニーズ、家族の特徴、危機的状況での優先度・治療選択・意思決定について学習する。				
	2	周術期にある患者と家族への看護①			到達目標:手術に伴う身体侵襲と生体反応、患者と家族の看護について理解する。 学習内容:身体侵襲と生体反応、全身麻酔、硬膜外麻酔、手術体位、麻酔導入から抜管まで、モニタリング、術中検査、麻酔合併症、出血、感染について学習する。				
	3	周術期にある患者と家族への看護②			到達目標:①身体的変化、回復過程、術後合併症、異常の早期発見、術後管理、機能障害や生活制限のアセスメントと看護について理解する。②術直後・1日目にある患者の麻酔・術後合併症と全身状態のアセスメント・看護について理解する。 ③術後の観察、合併症予防が理解できる。				
	4				学習内容:①全身麻酔、抜管時の看護、回復室(病棟)への移送、手術直後の合併症、観察のポイント、退出条件、機能障害などについて学習する。②術直後・1日目にある患者の全身状態のアセスメント(意識レベル、呼吸器合併症、循環動態、疼痛、術後感染、消化器合併症、ドレーン管理、術後精神状態、早期離床、日常生活の援助と心理的援助、退院に向けた指導・支援について学習する(グループ学習)。 ③術直後全身観察・合併症の観察の技術について学習する(個人ワーク)。				
	5	周術期にある患者と家族への看護③			到達目標:①手術前の患者の身体的・精神的なアセスメントとニーズに合わせた看護を理解する。 ②手術前訓練が理解できる。 学習内容:①術前検査、術前オリエンテーション、術前訪問、術前訓練、術後合併症予防、不安、安全管理、リスクアセスメントについて学習する(術前指導:グループ学習)。 ②術後の観察、術後合併症の・異常の早期発見、呼吸訓練、弾性ストッキング装着の技術を習得する【技術チェック】。				
	6	看護【実践】演習Ⅰ: 技術チェック							
	7	周術期にある患者と家族への看護【小テスト】 まとめ			到達目標:周術期にある患者と家族への看護が説明できる 学習内容:手術・麻酔による侵襲のメカニズム【小テスト】、周術期にある患者と家族への看護のまとめ				
	8	周術期(手術後)アセスメント演習			到達目標:周術期に予測される術後合併症をアセスメントできる。 学習内容:ゴードンの機能的健康パターンを用いて、手術後に予測される全身麻酔の影響や侵襲に伴う生体反応、術後合併症のアセスメントを学習する(個人・グループ学習)。				
	9	消化・吸収機能障害にある患者の看護①			到達目標:消化・吸収機能の異常でみられる症候と看護について理解する。 学習内容:悪心・嘔吐、吐血・下血、腹痛の観察、アセスメント、症候への看護について学習する。 (個人・グループ学習)				
	10	消化・吸収機能障害にある患者の看護②			到達目標:消化・吸収機能障害の検査・治療と看護について理解する。 学習内容:胆石症(胆嚢摘出術)を受ける患者のアセスメントと機能障害に応じた看護について学習する。				
	11	消化・吸収機能障害にある患者の看護③			到達目標:消化・吸収機能障害の検査・治療と看護について理解する。 学習内容:大腸がん、直腸がん(低位前方切除術、マイルズ)を受ける患者のアセスメントと機能障害に応じた看護について学習する。				
	12	周術期 看護過程演習Ⅰ			到達目標:開腹術を受ける患者の病態、検査、治療過程および生活に及ぼす影響について理解し看護が展開できる。 学習内容:周術期にある事例患者の看護過程を学習する(個人・グループ学習)。				
	13	生殖機能障害にある患者の看護			到達目標:性・生殖機能障害の検査・治療と看護について理解する。 学習内容:乳がん(乳房切除術)、子宮がん(子宮全摘術)を受ける患者のアセスメントと機能障害に応じた看護について学習する。				
	14	運動機能障害にある患者の看護①			到達目標:運動機能の異常でみられる症候と看護について理解する。 学習内容:疼痛、しびれ、可動域制限の観察、アセスメント、症候への看護について学習する。 (個人・グループ学習)				
	15	運動機能障害にある患者の看護②			到達目標:運動機能障害の検査・治療と看護について理解する。 学習内容:人工関節置換術を受ける患者のアセスメントと機能障害に応じた看護について学習する。				
	16	周術期 看護過程演習Ⅱ			到達目標:人工関節置換術を受ける患者の病態、検査、治療過程および生活に及ぼす影響について理解し看護が展開できる。 学習内容:周術期にある事例患者の看護過程を学習する(個人・グループ学習)。				
	17	統制機能(脳神経機能)障害にある患者の看護			到達目標:脳・神経機能障害の検査・治療と看護について理解する。 学習内容:クモ膜下出血(開頭術)を受ける患者のアセスメントと機能障害に応じた看護について学習する。				
18	周術期 看護過程演習Ⅲ			到達目標:開頭術を受ける患者の病態、検査、治療過程および生活に及ぼす影響について理解し看護が展開できる。 学習内容:周術期にある事例患者の看護過程を学習する(個人・グループ学習)。					

	19	呼吸機能障害のある患者の看護	到達目標:呼吸機能障害の検査・治療と看護について理解する。 学習内容:肺がん(肺切除術)を受ける患者のアセスメントと機能障害に応じた看護について学習する。
	20	循環機能障害にある患者の看護	到達目標:循環機能障害の検査・治療と看護について理解する。 学習内容:心筋梗塞(冠動脈バイパス術)を受ける患者のアセスメントと機能障害に応じた看護について学習する。
	21	周術期 看護過程演習Ⅳ	到達目標:開胸術(冠動脈バイパス術)を受ける患者の病態、検査、治療過程および生活に及ぼす影響について理解し看護が展開できる。 学習内容:周術期にある事例患者の看護過程を学習する(個人・グループ学習)。
	22		
	23	看護【実践】演習Ⅱ	到達目標:術後の身体的変化や回復過程を踏まえた日常生活の援助や離床の支援を実践できる。 学習内容:①手術療法を受ける患者の状態・状況を踏まえた日常生活の援助を演習する。 ②術直後～1日目の対象の全身状態のアセスメントおよび術後合併症予防、ドレーン管理、局所または全身の機能低下および精神活動の低下を予防するための早期離床の援助を演習する。
	24		
	25	看護【実践】演習Ⅲ	到達目標:術後の生体反応や麻酔の影響、術後合併症を考慮した臨床判断を行うとともに、異常の早期発見とその対応を実践できる。 学習内容:術後のアセスメントと異常時の看護をシミュレーション人形を用いて実施する。
	26		
	27	周術期 看護過程【小テスト】まとめ	到達目標:周術期患者の看護過程の特徴が説明できる。 学習内容:周術期患者の看護過程【小テスト】、まとめ
	28	基礎疾患のある対象の周術期のアセスメント	到達目標:基礎疾患のある対象の周術期のアセスメントを理解する。 学習内容:糖尿病のある対象の周術期のアセスメントについて学習する。
	29	クリティカルケア看護①	到達目標:救急患者における緊急度と重症度、クリティカルケアの基本、救命治療を受けている生命の危機的状況にある患者の看護について理解する。 学習内容:救急医療・集中治療における看護の実践について学習する。[非常勤講師:筑波記念病院]
	30	クリティカルケア看護②	到達目標:救急患者の事例を通して、救急外来からICU入室までの看護の実践を理解する。 学習内容:救急患者の搬入時の情報、病態から患者の状態をアセスメントし、救急患者の機能障害に応じた看護について学習する。[非常勤講師:筑波記念病院]
成績評価の方法・基準	対面時:小テスト(25%)＋演習課題・レポート(25%)＋定期試験(50%) オンライン時:課題、演習レポート(40%)、授業小テスト(40%)＋最終確認テスト(20%)		
教科書	1)急性期看護Ⅰ 概論・周術期看護 改訂第4版 2)急性期看護Ⅱ クリティカルケア 改訂第4版 3)専門分野Ⅱ成人看護学②③⑤⑥④ 4)成人看護技術 改訂第3版 5)基準看護計画 第4版 6)根拠がわかる疾患別看護過程 7)根拠がわかる症状別看護過程 8)NANDA-I看護診断 定義と分類 2024-2026 ※2)3)②③⑤⑥、6)7)8)は2年次までに購入	1)林直子、佐藤まゆみ 2)佐藤まゆみ、林直子 3)井廻道夫 他 4)野崎真奈美 他 5)山勢博彰、山勢善江 6)新見明子 7)関口恵子 他 8)T.ヘザー・ハードマン、上鶴 重美 他	1)南江堂 2)南江堂 3)メヂカルフレンド社 4)南江堂 5)照林社 6)南江堂 7)南江堂 8)医学書院
参考図書	1)医学書院:周術期の臨床判断を磨くⅠ、Ⅱ その他、随時紹介します。		
教員からのメッセージ	既習の人体の構造・機能、病態・治療論、成人看護学の知識の習得をしていないと理解が困難な内容です。講義進度も早いので、予習・復習など、積極的な自己学習が重要です。各教員が臨床での経験を語りながら看護場面を想定できるようにしています。演習では、個人ワークだけでなくグループワークも行います。自らが積極的に演習に参加し成人看護学実習を意識した学習をしてください。この授業は、総合病院、大学病院で勤務した看護師がこの授業を担当します。オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。		